(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和4年10月14日　　企業・団体名：ニッポン高度紙工業株式会社

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・「行動規範」において、人権を尊重することを定め、実践を促している ・就業規則、ハラスメント防止規定にてルールを定めるとともに、相談窓口を設置し、社内への周知および教育を実施している				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・各職場から選出した委員で構成するメンタルヘルス推進部会による「こころの安全パトロール」を月に1回実施し、潜在・顕在する職場の問題の早期発見に努めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・柔軟な働き方ができるよう、フレックスタイム制度・半日有休制度・育児や介護のための短時間勤務制度等について充実させている								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・「行動規範」において、人権を尊重することを定め、実践を促している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・各事業所の安全衛生委員会とは別に、社長を総括安全衛生管理者として、各事業所の委員長や法定選任者で構成した全社安全衛生委員会を設置し、全社およびグループ全体の課題や対応事例を積極的に共有・展開するなど作業環境の改善を積極的に進めている ・安全衛生委員会での「安全パトロール」を月に1回実施し、安全意識の啓蒙や労働災害の未然防止に努めている ・労働災害が発生した場合は、事故対策委員会を開催し、原因の追究・再発防止対策の検討を行なっている ・毎月、社内安全衛生広報を配信して全従業員に情報展開している			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・安全衛生専任部署およびメンタルヘルス推進部会を軸に、ラインケア、セルフケアなどの研修を毎年実施している ・毎月の各職場パトロールにて職場の雰囲気や人間関係の問題などを抽出し、改善や見守り、個別相談や専門家への報連相などの活動を実施するなど未然防止活動に注力している ・本人が直接相談できるメンタルヘルスの外部相談窓口を設置している			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・女性活躍推進は、2016年より目標を定めて取組んでいる ・「女性も働くことができる製造現場」を目指して、女性社員目線での改善案の検討を開始し、一部導入済み。その他部門においても課題抽出や対策を検討している ・障害者については、その障害の状況に応じた対策を講じている ・現在、高齢者が活躍できる環境の整備について、検討を開始している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・教育訓練年間計画を策定し、階層別教育や任意教育を実施している				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・同一労働同一賃金の観点で社内ルールを点検し、原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・中期重点施策において「従業員の健康増進、活力増強」をテーマに掲げ、健康教育実施、食生活支援、運動と禁煙の奨励、有所見者への対応、長時間労働の抑制、メンタルヘルスケアの充実に取組んでいる ・人間ドックの経費補助やインフルエンザ予防接種の会社負担を実施している ・経済産業省から「2022健康経営優良法人ホワイト500」の認定を受けている			3					8									

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・ウェブ会議を積極的に導入している ・居室や会議室は換気を徹底し、加えて、マスクの着用および手指消毒を徹底している ・職場のソーシャルディスタンスを考慮した居室およびレイアウトの見直しをはじめ、デスク周りへの衝立の設置など飛沫感染対策を実施している			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・中期重点施策として「デジタル技術を活用した業務プロセスの改革」に取り組んでいる ・取締役会をはじめ、社内資料の電子化を推進している ・パソコンをデスクトップ型からノート型に切り替え、テレワーク対応が可能な体制を整備している								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・ISO14001：2015を認証取得しており、廃棄物管理規定等の社内ルールに基づき、廃棄物の発生抑制、適切な処理に取組んでいる											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・省エネ法に基づき、エネルギー使用量を算出・報告しており、太陽光発電システムの設置やLED化等オフィス節電にも取組んでいる ・同法の「事業者クラス分け評価制度」で、2021年度評価において「Sクラス（省エネが優良な事業者）」に認定されている							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・2030年3月期までに、2014年3月期比CO2排出量46%削減を目標に取組んでいる ・上記目標達成の重点施策として「クリーンエネルギー設備（LNG、太陽光発電等）の導入」については、ボイラー燃料の完全LNG化が完了し、太陽光発電については予定通り計画進行中である							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・ISO14001：2015を認証取得しており、化学物質管理規定等の社内ルールに基づき、環境汚染防止、自社製品への含有防止など適正に管理している			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・社有林を適切に管理し、水源かん養機能を維持するとともに、広葉樹の育林等を進め、森林の持続可能性を向上させて生物多様性の維持・向上に努めている ・「四国山地 緑の回廊の連携に係る協定」を締結し、生物多様性の維持・向上を進めている						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・社内資料のペーパレス化、裏紙の使用を推進している ・抄紙工程で排出されるスラッジの一部を有価物として処理し、廃棄物削減に努めている ・二酸化炭素回収・有効利用・貯留（CCUS: Carbon dioxide Capture,Utilization and Storage）について、国等の動向などを情報収集している												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	CO2排出量削減とCO2吸収源創出の2つの側面で取組んでいる 【CO2排出量削減】 ・クリーンエネルギー設備（LNG、太陽光発電等）導入 ・効率的な生産計画と地道な改善活動によるエネルギー使用量の削減 ・エネルギー効率の高い設備の導入等 【CO2吸収源の創出】 ・社有林を適切に管理し、CO2吸収源を創出することで国の「J-クレジット制度」認証、カーボンオフセット実現をそれぞれ目指している							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・地下水の利用に関して、事業所のある各自治体と環境協定を締結し、水の利用状況を管理・報告している ・抄紙時に使用する水量に関し、削減目標を定め、水資源の保全に取組んでいる						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・ISO14001：2015を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・自社HPの「CSR活動」内の「環境とのかかわり」の項目で取組み内容を開示している												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・南国工場では、「実質再エネプラン」電力の採用により、同工場のCO2排出量は実質ゼロを実現している ・太陽光発電設備については、予定通り各事業所に導入を進めている							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・抄紙工程で利用する水について、工程内での処理と再利用に取組んでいる ・原料の木材パルプは森林認証原料（FSC、PEFC）を使用												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・役職員のお弁当は日々の必要量を発注しており、廃棄ロスの削減に努めている	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・入社時に、行動規範および就業規則による教育を行ない、全従業員対象にコンプライアンス教育を定期的に行なっている																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・入社時に、行動規範および就業規則による教育を行ない、全従業員対象にコンプライアンス教育を定期的に行なっている																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・特許や知的財産権の取得管理を専門に行なう部門を設置し対応している								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・入社時には、社内規定に基づき、個人情報の取り扱いに関する教育を実施している ・毎年定期的に、個人情報の取り扱い等を含むコンプライアンス研修を実施している																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品の原材料に使用されていないことを、サプライヤー向けのCSR調査によって把握している																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・購買先評価での二者監査およびCSR調査を実施することで、当社とサプライヤーの人権侵害の防止、倫理面および環境配慮に対する認識共有を図り、ともに公正な事業運営ができるよう取組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・品質管理の仕組みを構築し[ISO9001：2015]を取得している			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・品質管理の仕組みを構築し[ISO9001：2015]を取得している									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・森林認証原料などの持続可能な原料を使用するように努めている ・当社のグリーン調達基準を策定し、サプライヤーへ展開している						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・2022年5月竣工の本社新社屋において、階段の手すり等内装の一部で木材を使用している						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・最新設備の導入や日頃の業務の地道な活動を通じて、温室効果ガス（GHG：GreenHouse Gas）削減に取組んでいる ・省エネにつながる電子部品の部材の開発に取組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・本社が所在する地域の自治会との定期説明会（年1回）を継続的に開催し、インフラ等に関する情報交換を行なっている ・個別の活動についても、地域住民への報告会を開催するなどして理解を得られるように促している				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・定期的に周辺道路や海岸の清掃活動などに取組んでいる ・新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする寄付、また、震災や台風などの大規模災害発生時の義援金等を実施している				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・地元資本の企業から、昼食等の弁当を仕入れている								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・法規制に関する順守状況の確認・評価を全社的かつ定期的に実施している ・コンプライアンス研修を定期的に行なっている ・これらのことを実施することで法令遵守の考えが浸透している																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・全役職員が常時閲覧でき、経営計画発表会においても毎期共有されている								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・CSRについては総務課が担当しており、ESGについても兼任している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・各担当部門でヒアリングする機会を設けるなど工夫しながら適切に対応している																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・当社のコンプライアンス基本方針を踏まえ、法規制等を誠実に遵守して業務を遂行するために、当社の事業活動に適用される法規制等を明確にし、法規制等の制定、改正、廃止を定期的に確認し、管理している																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・内部監査を毎年定期的に実施することで、リスクの特定・評価、仕組みの維持を確認する体制を構築している																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・SDGs、CSR、ESGの関係性を明確にして、CSRについては自社HPで取り組み内容を開示している																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震を想定したBCPを策定し、鳥取県米子市の米子工場も含めて避難安否確認訓練を全社的に実施することでBCMにも取組んでいる ・BCPに基づき、毎年の訓練や新型コロナウイルスなど新たなリスクへの対応事例をもとに順次見直しを行なっている									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	経営幹部候補の育成が、十分な時間と資源をかけて計画的に行なわれるように進めている								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・BCM推進会議にて各事業所のハザード情報およびそのハザードに基づくリスクアセスメントを実施して課題を抽出し順次対策を講じている ・毎年実施しているBCM総合訓練結果における課題や環境整備を通じて全社の防災体制の強化を図っている ・津波避難施設として指定されており、地域住民、小学校の避難訓練に協力している				4							11.5		13.1			16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
防災	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・毎年、消防団員基礎教育（消防学校主催）への参加、防災士資格取得、社内での初級救命講習や応急処置教習（赤十字や消防署の協力）を実施し、有事の際に安全かつ迅速に対応できる体制づくりを計画的に実施している	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・中期計画において、当社のSDGsに関する取組みを明記し「環境」、「社会」、「ガバナンス」それぞれの側面での重要課題・項目を抽出し取組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新卒、中途採用を問わず、人材採用には力を入れており、会社説明会等を開催している				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・「四国山地 緑の回廊の連携に係る協定」を四国森林管理局等と協定することで、より豊かな森づくりに貢献している								8	9		11						